

令和4年度 シラバス

地歴公民

科目（ 日本史A ）

単位数	2 単位	学科・学年・学級	3年G・H・I/組
教科書	「高等学校改訂版 日本史A」(第一学習社)	副教材等	副教材「日本史のライブラリー」(東京法令出版)

1 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付ける。 ・現代の諸問題に着目して考察させることで、歴史的思考力を培う。 ・国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1 学 期	4	第1章 近代国家の形成と国際関係の推移 開国と幕末の動乱	1. 黒船がやってきた 3. 手を結ぶ薩長 5. 江戸幕府が終わり新政府へ	・アメリカ東インド艦隊のペリー司令官を中心に日本が開港した背景を学ぶ。 ・日米和親条約、日米修好通商条約の締結から長州藩・薩摩藩の動きを学ぶ。 ・戊辰戦争から江戸幕府滅亡の経緯を学ぶ。	行動観察 ノートの書き込み グループワークの取り組み 定期試験
	5	近代国家の形成	1. 江戸が東京になった 6. 爆発する農民や士族の不満 中間考査	・新政府の発足により版籍奉還・廃藩置県・秩禄処分地租改正を中心に中央集権国家の確立を学ぶ。 ・江華島事件を踏まえ、征韓論派が武力と言論に分かれたことを理解し、自由民権運動に繋がったことを学ぶ。	行動観察 ノートの書き込み グループワークの取り組み 定期試験
期	6	国際関係の推移と近代産業の発展	7. 国会開設が決まった 8. 立憲政治がはじまった 2. 清国との対立が深まった	・国会開設への動きと自由民権運動の関わりを理解し、大久保利通が中心となって進めた国づくりを学ぶ。 ・自由民権運動の高まりから国会開設までの経緯を学ぶ ・朝鮮問題から日清戦争までの経緯と終戦後の外国との関わりを学ぶ。	
	7		5. ロシアとの戦争がおこった 8. 欧米の資本主義に仲間入りした 期末考査	・日清戦争から続いた経緯を理解して日露戦争が始まった経緯、終戦の影響を学ぶ。 ・産業革命の影響により、国内産業の発達が公害など現代にも繋がり、社会主義の広まりを学ぶ。	
2 学 期	9	第2章 両大戦をめぐる国際情勢 第一次世界大戦と日本	1. 民衆が政治を動かしはじめた 2. 最初の世界大戦に日本も参戦した 7. 抑圧から解放をもとめて	・第一次護憲運動などから国民の政治に対する意識の変化を学ぶ。 ・第一次世界大戦の原因から日本がどのように関わったのか学ぶ。 ・ロシア革命によるレーニンの台頭や社会主義国誕生による国際情勢の変化を学ぶ。 ・パリ講和会議の内容を学ぶ。 ・第一次世界大戦の影響から社会主義運動の高まりどんな運動となったのか、その頃の大衆文化の変化を学ぶ。	行動観察 ノートの書き込み グループワークの取り組み 定期試験
	10		9. 学問と芸術に新風が吹く	・大正デモクラシーをはじめとする明治とは異なる新たな文化の発生を学ぶ。	

2 学 期	11	第二次世界大戦と日本	1. 恐慌の嵐が吹き荒れる 3. 軍部の暴走がはじまった 7. アメリカとの戦争がはじまった 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 世界恐慌の影響から日本がとった対策と外国の対策を比較しつつ学ぶ。 経済的な行き詰まりから軍部の暴走が始まり、大陸侵攻が始まったことを理解する。 第二次世界大戦から敗戦までの経緯を学ぶ。 	行動観察 ノートの書き込み グループワークの取り組み 定期試験
	12		期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 冷戦下の戦争の内容を学ぶ。 トルーマンやマーシャルの政策を学ぶ。 冷戦下の社会情勢からアメリカの意図を考察し、独立までの経緯を学ぶ。 安保体制の締結や第三勢力の台頭から国内情勢の変化を学ぶ。 	
3 学 期	1	第3章 現代の日本と世界	日本の再出発 1. 占領軍がやってきた 3. 新しい国のしくみ 独立後の政治と経済の発展 2. 保守と革新の正面衝突 3. 奇跡の高度成長がはじまった 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> GHQの政策の内容について学ぶ。 日本国憲法に盛り込まれた内容から社会情勢の変化を学ぶ。 55年体制の成立から国際社会への復帰過程を学ぶ。 1950年の朝鮮戦争をひとつの起点として、日本が経済大国へと成長していった経緯を学ぶ。 	行動観察 ノートの書き込み グループワークの取り組み 定期試験

3 評価の観点

関心・意欲・態度	歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。
思考・判断・表現	歴史的・地理的事象から課題を見だし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
観察・資料活用の技能	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
知識・理解	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・資料活用の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> 担当職員が説明している時は、しっかり聞く。 テスト前に勉強しやすいように自身でノートづくりの工夫をする。
